

学会ニュース

No.5

青木浩治教授退職記念講演会

この度、本学の教育、研究に多大な貢献をされ、ご尽力くださいました甲南大学経済学部経済学科の青木浩治教授が、2023年3月31日をもって定年退職されました。

今回、ご退職にあたり、青木浩治教授退職記念講演会を2023年3月15日(水)に実施いたしました。



内容

講演会では、青木教授のおよそ40年に渡る研究の原点となる「為替レートとの出会い」をはじめ、これまでの日本の円相場、そしてこれからの日本経済についてお話しいただきました。

特に、2022年3月以降の急速な円安・ドル高および同時進行したエネルギー・資源価格の高騰を、90年代から続いていた長期デフレ状態を打破するナッジの役割を果たしているというお話は、自分にとっても身近な話題だったので、とても興味深かったです。

今後の日本経済・世界情勢について、どのように変化していくのか注目してみようと思いました。

青木先生へのインタビュー

ご退職にあたり、青木先生へインタビューをさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

1. 先生の専門分野・研究テーマを教えてください。
→専門分野は国際経済学、主要な研究テーマは為替レートの経済学、中国経済の分析です。
2. 先生がこれまで研究を続けてこられた専門分野についてお聞かせください。
→円ドルレートに焦点を絞った為替レート決定の理論・実証分析がメインです。また中国経済の分析も90年代末から開始し、一応まとまった書籍を著しています。

青木先生へのインタビュー

3. 大学教員になったきっかけを教えてください。

→私は経営学部出身ですが、むしろ経済学に興味を持ち、方向転換したことから始まっています。最初は五里霧中でしたが、次第に考え方がまとまり、続けることに自信が湧いてきました。自分の考えた新しいことをまとめていく作業が性に合っていることに気づきました。

4. 教員生活の中で苦勞したことはありましたか。

→研究の頭打ちがたびたびやってきたことです。その度に一人思い悩んできました。

5. 教員生活の中で、1番印象に残っていることは何ですか。

→いろいろあるのですが、よくも40年間やってこれたなということでしょうか。

青木先生へのインタビュー

6. 大学教員になってよかったことは何ですか。

→お金にはそこそこ苦勞することなく、好きなことを好きな時間だけ行えることです。時間に追われることがあまりないことが最大のメリットだと思います。

7. 退職された後、してみたいことはありますか。

→貧乏性で、いまのところ現在の継続しかありません。強いて言えば残された好きな歴史書籍を読破することでしょうか。

8. 学生へメッセージをお願いします。

→甲南の学生さんの良いところは素直なことです。また鍛えれば伸びそうなこも少なくありません。“Do it yourself, be ambitious!”と言ったところでしょうか。

編集後記

この度は、青木教授のご退職にあたり、講演会とインタビューを実施いたしました。改めまして、長年に渡り甲南大学経済学部にご尽力くださり、ありがとうございました。

また、当日講演会にご参加くださいました皆様も、ありがとうございました。今後も甲南大学経済学会をよろしくお願い致します。

学会ニュースを最後までお読みくださり、ありがとうございました。

[担当] 布引藍子